

		観 点			
		仮説の設定	実験計画の立案	考察	発表（提案）
		走る目的（要素）に着目した 課題設定と仮説立て 6～7時間目	仮説検証に対する アプローチ方法 8～9時間目	得られたデータの分析と 意識の変容に対する考察 10～13時間目	検証結果から得られた 走る目的（要素）の提案 14時間目
S (10点)	1～5限目までで得られた感覚（脳・身体・精神）を基に着目したい要素を決定している。加えて、複数の要素を関連付けて仮説を立てている。	科学的根拠に基づいており、複数のデータを用いて、多面的かつ客観的に評価できるようなアプローチ方法を考案し、実践している。	探究的な活動を通して、得られた複数のデータを根拠に多面的に分析している。さらに、仮説の真偽について考察し、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	表現方法を工夫して聞き手の状況を確認しながら、自他共に認める目的（要素）の提案をしている。	
	1～5限目までで得られた感覚（脳・身体・精神）を基に着目したい要素を決定している。加えて、要素と関連付けて仮説を立てている。	科学的根拠に基づいており、複数のデータを用いて、客観的に評価できるようなアプローチ方法を考案し、実践している。	探究的な活動を通して、得られた複数のデータを根拠に分析している。さらに、仮説の真偽について考察し、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	表現方法を工夫して、自他共に認める目的（要素）の提案をしている。	
	着目したい要素を決定し、それを基に仮説を立てている。	科学的根拠に基づいており、データを用いて、客観的に評価できるようなアプローチ方法を考案し、実践している。	探究的な活動を通して、得られたデータを分析している。また、仮説の真偽について考察し、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	自他共に認める目的（要素）の提案をしている。	
	着目したい要素を決定する際、過去の授業と繋がっておらず、仮説立ても不十分で課題が残る。	科学的根拠に基づいておらず、客観的に評価することができない。アプローチ方法の考案に課題が残る。	探究的な活動を通して、得られたデータの分析と仮説の真偽における考察に課題が残る。	目的（要素）の提案に課題が残る。	
自己評価	(点)	(点)	(点)	(点)	
	合計点 40点満点	相互評価		班 班 班	